

春を呼ぶ

フランムーシのカーニバル (Stavelot)



3月17日 (土) 20h30 夜のパレード、22h Abbayeにて無料のBa1

3月18日 (日) 14h メインパレード、21h 花火

3月19日 (月) 15h 魔女の出現、コンサート

カーニバルは西方キリスト教の祭りで、復活祭前の四旬節（灰の水曜日以降の日曜日を除く40日間）に、キリストの断食修行にならって肉を食さない慣習があり、その前日の火曜日（Mardi-gras）にしっかり食べだめし、乱痴気騒ぎをしたことに始まる謝肉祭のことをいいます。中世から続く伝統的なカーニバルの多くは、四旬節に先立って開催されますが、地域によっては四旬節中に行うところもあります。ラテン語のcarne vale（肉よ、さらば）が語源といわれています。

フランムーシのカーニバル www.laetare-stavelot.be

俗説では1502年、当時この地を支配していた修道院長が修道士に世俗のお祭り騒ぎをすることを禁止し、庶民がそれを揶揄（やゆ）したことからはまったという。当時の修道士を象徴する頭巾つきの純白の衣装と真っ赤な長い鼻のマスクを身にまとったフランムーシが練り歩く。膨らませた硬く、くさい豚の膀胱で観客の頭をたたき、紙吹雪などで驚かしながら行進する。最後には、放水車ならぬ放紙車が紙吹雪の雨を降らせる。頭だけでなく、背中など体中に紙吹雪が…。観客参加型のカーニバルで、観客がパレードに引き込まれたり、話しかけられたり、また、写真撮影にポーズを取ってくれたり。子どもにはキャンディーなどを配りながら行進していく。フランムーシとはワロン語で白装束の意。フランムーシ以外にも、テーマに沿った衣装で練り歩くグループがある。古い祭りで1706年にはすでに記録が残っているという。

アクセス：ブリュッセルからリエージュ方向へ車で1時間強（約150km）

スタブロ観光案内所 Place Saint-Remacle 32, 4970 Stavelot
毎日10～13h、13h30～17h
www.stavelot.be/tourisme

その他のカーニバル情報は、プチポワのウェブサイトをご覧ください。

www.petits-pois.be

2月からの運賃が決定! さらにお手頃に、フレキシブルになりました。ご出張・一時帰国もANAで!

ブリュッセル発東京
(成田・羽田)行き
往復運賃



ECONOMY CLASS

ゆったりシートで
今までにない快適さを

€940~
(€340 + 空港税*)



BUSINESS CLASS

180°フルフラットシートで
快適な睡眠を

€3,300~
(€2,700 + 空港税*)



ECONOMY CLASS

BUSINESS CLASS

片道エコノミークラス
片道ビジネスクラスの組み合わせ

€2,120~
€1,520 + 空港税*

NEW

※上記運賃は2012年1月上旬のレートで計算した各空港使用税・保険料・燃油サーチャージの合計です。発券時の換算レートにより空港税の合計が変わる場合がございます。予めご了承ください。

詳しくはANAホームページをご覧ください。 www.anaskyweb.com

ANA

A STAR ALLIANCE MEMBER